



中山の園グループだより

毎朝元気に!腰痛体操!



現在、中山の園を利用されている方々の高齢化が全般的に顕著になってきており、利用者の方の障がいに合わせた支援と併せさらに年齢に配慮した支援が必要となっています。このような状況から、職員にかかる負担も年々増加傾向にあることが言えます。介護的な支援も必要となってきていることから精神的な疲労だけでなく、身体的負担も増えてきています。そのため、つつじでは職員の怪我の防止や負担軽減のため、利用者のみなさんと共に腰痛体操に取り組んでいます。朝の朝礼後の時間を利用して、みんなでしっかり体を伸ばし一日の業務に備えています。ゆっくりと無理なく体を動かすことで自然とリラックスでき、仕事にも力が入りますよ！皆さんも腰痛体操一緒にいかがでしょうか？是非お試しください。

(つつじ 釜崎生活支援員)



内容

- 【表紙】毎朝元気に!腰痛体操!(つつじ)
- 中山の園グループ平成30年度経営目標
- 中山の園グループ決算について
- 特集1:地域公益活動とは
- 特集2:今年度各施設の地域公益活動の取組紹介
～ふたば、ひこうせん～
- [中山の園写真館]～やまゆり・りんどう・かたくり・こぶし



中山の園ぐるーぷ写真館

里山一座の方々に来ていただき楽しいひと時を過ごしました。歌と踊りで自然と皆さん笑顔に^^

二戸福祉アート展に作品を出しました。
私の作品どうですか??

ご家族の方と一緒に花植えをしました。
元気に育つといいな♥

イオンに外出し、パフェを頂きました♪
美味しい～♥

ボランティア募集

- 利用者の皆さんと一緒に楽しい一時を過ごしませんか。

中山の園グループでは随時、一緒に過ごしてくださるボランティアを募集しております。コーラスや神楽、日常生活での利用者とのふれあいなど、どのような内容でもかまいませんので、ぜひお問い合わせを!!

中山の園総務部 TEL 0195-35-2121

●中山の園まつり

9月15日(土)に第39回中山の園まつりを開催します。楽しい催しや美味しい出店が並びます。ぜひ、皆さん遊びにいらして下さい。また、お祭りを伝ってくださるボランティアも募集しております。出店やアトラクションのお手伝いをお願いしたいと思います。お問い合わせ、お待ちしております。

園まつりボランティア受入担当施設
やまゆり TEL 0195-35-2479

編集後記

今年度の大きな活動となる各施設の地域公益活動の一部を紹介させていただきました。次号では中山の園の他施設の活動についてさらに紹介したいと思いますのでどんな取り組みをしているのか乞うご期待！

(つつじ 釜崎)

地域公益活動の取組について

«～今年度の中山の園グループ各施設・事業所の取組紹介～»

平成27年度は、「組織運営の基本方針」として「顧客起点」「前向き姿勢」「柔軟性」「中庸」を掲げました。平成28年度には、「中山の園グループの経営目標」として、「もっと中山の園を知ってもらう」、「利用者・家族そして職員満足度を向上させる」、「職員一人ひとりが自律経営の意識を持つ」そして「利用者支援のキャッチフレーズ」として「一その支援、家族の前でも出来ますかー」を掲げました。平成29年度は「和顔愛語」、「利用を断らない」、「チーム中山」の3点を経営目標に掲げました。

これらの取り組みを継続しつつ、今年度(平成30年度)は、以下の2点をグループ全体の経営目標に設定しましたので、その内容をご説明します。

「利用を断らないための支援スキルの向上」

昨年度は、当法人の置かれている状況や役割を果たすため、すなわち県からの運営補助を得ている等、県内の他の社会福祉法人に比し、より公益的な法人・事業運営が求められており、その具体的な行動姿勢として「利用を断らない」を掲げてグループの運営・経営に努めてきました。

施設生活を選択せざるを得ない方々

企画調整室長 吉田誠司

白畠由貴子

地域公益活動の取組 生活介護事業所「ふたば」

～卓球バレーの普及活動～



卓球バレーの様子

ふたばが「卓球バレー」に出会い、早いもので3回目の春を迎えるました。この間、年に3~4回ほど盛岡周辺での大会に出場、今年1月には、「第一回中山の園所長杯卓球バレー大会」を開催し、近隣の事業所さんと交流することができました。

卓球バレーは「障がいの有無、年齢、性別を問わずに楽しめる競技であり、何より、12人一度に楽しむことができます。大勢で行うこともあります、大変盛り上がるこの競技を、中山地区に紹介し、地域全体の交流の機会に繋げるべく、取組を進めています。

取り掛かりとして、4月24日奥中山地区公民館で、岩手県障害者スポーツ協会主催の「卓球バレー指導員講習会」と中山の園各施設と近隣の事業所さんとの交流会を開催しました。講習会には、一戸町のスポーツ推進員さん、地区の老人クラブの方々にも参加していただきました。講習会、交流会併せて、60人ほどの参加を得、ご協力いただいた方々には感謝しております。

今後の予定としては、6月に「第二回中山の園所長杯卓球バレー大会」を、11月には中山地区全体での開催を検討しております。大会運営、審判の確保等不安な部分はあります

が、地域の皆さんにご協力いただきたいと思います。

ふたば副所長 白畠由貴子

地域公益活動の取組 地域生活支援センター「ひこうせん」

～環境美化「美しい町づくり」～



沢山の花を植えました！

岩手町では歩行者の目を楽しませてくれます。ある時、その場を通りかかった際花が見えてづらくなっていることが気になり五日市地区子ども会、老人会の花壇には色鮮やかな花が植えられています。また、子ども会の会長からも「とても助かります」との言葉を頂きひこうせんまで出向いていただきました。それぞれの問題を抱えていてもそのことを伝えられない状況にある事を痛感しました。

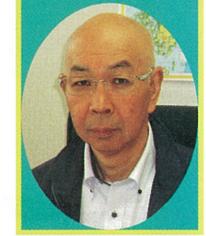
今年度老人会からいただいたお花は、お花いっぱい運動の目的である安らぎと潤いのある生活環境作りにひこうせん利用者も飾らせていただいています。

花いっせい運動の目的である安らぎと潤いのある生活環境作りにひこうせん利用者も職員もお手伝いさせていただき美しい町を地域の方と一緒に指していかなければなりません。

ひこうせん副所長 佐藤由美子

中山の園 グループ

常務理事兼中山の園所長 鈴木 豊



平成29年度 中山の園グループ決算



事業活動計画書 (一部抜粋 H29.4.1 ~ H30.3.31)

(単位:万円)

年度 勘定科目	H29	H28	増減 (H29-H28)
就労支援事業収益	1,163	1,169	▲ 6
障害福祉サービス等事業収益	150,295	143,634	6,661
医療事業収益	733	665	68
経常経費寄付金収益	18	5	13
サービス活動収益計(1)	152,209	145,473	6,736
その他のサービス活動外収益	462	485	▲ 23
サービス活動外収益計(2)	462	485	▲ 23
収益計 A=(1)+(2)	152,671	145,958	6,713
うち 県補助	11,050	10,933	117
人件費	86,546	86,735	▲ 189
事業費	19,134	18,558	576
事務費	18,054	18,033	21
就労支援事業費用	1,163	1,170	▲ 7
減価償却費	2,193	2,100	93
国庫補助金等特別積立金取崩	▲ 207	▲ 179	▲ 28
徴収不能引当金繰入	5		5
サービス活動費用計(3)	126,888	126,417	471
支払利息	72	67	5
その他のサービス活動外費用	170	219	▲ 49
サービス外活動費用計(3)	242	286	▲ 44
費用計 B=(1)+(2)	127,130	126,703	427
経常増減差額 C=A-B	25,541	19,255	6,286

は、地域・在宅での生活が難しい方々であり、施設支援も困難な方々ばかりです。
24時間医療的ケアが必要な方を除き、利用を断らない姿勢を貫いていくためには、他法人・事業所に負けない(持っていない)支援スキルを身につけている必要があります。より公益的な事業体になつていくためには、支援が困難な方々への支援スキルを獲得し更には向上していく必要があります。

地域公益活動の積極推進

中山の園グループでは、「職員一人ひとりが自律経営の意識を持つ」ことを継続して取り組んでいます。その中で平成29年度決算は昨年度と比較し、収益は6,713万円増の152,671万円、費用は427万円増の145,958万円と収益が大幅に増加したことにより、経常増減差額は25,541万円の黒字となりました。

中山の園グループでは、「職員一人ひとりが自律経営の意識を持つ」ことを継続して取り組んでいます。その中で平成30年度においても更に質の高いサービス提供と安定経営に向けた利用定員の充足、効率的な経費の削減に努めてまいります。

中山の園 総務部長 石井 優

収益増の要因は、やまゆり利用者及び各事業所利用率の増、更に支援区分変更及び福祉介護職加算により給付費が6,661万円増加したことによるものです。

中山の園グループでは、「職員一人ひとりが自律経営の意識を持つ」ことを継続して取り組んでいます。その中で平成30年度においても更に質の高いサービス提供と安定経営に向けた利用定員の充足、効率的な経費の削減に努めてまいります。



費用（人件費、事業費、事務費）は特に節電・節水の継続的実施に努めましたが、燃料単価の上昇をカバーするまでには至らず、471万円の増となりました。



平成30年度においても更に質の高いサービス提供と安定経営に向けた利用定員の充足、効率的な経費の削減に努めてまいります。